



ロータリー：
変化をもたらす



2017-2018 R.I.会長
イアン H.S. ライズリー

第1074回
(1月9日)
本日の例会

1. 点 鐘
2. ローターソング
3. 会長の時間
4. 会務報告
A 幹事報告 C ニコニコボックス
B 委員会報告 D 出席報告
6. プログラム
賀詞交換
7. 点 鐘



国際ロータリークラブ第2820地区第二分区
ひたちなかロータリークラブ
(会長)横須賀 忠行 (幹事)小野 修
(会報委員)坪田 純一

■例会■
毎週火曜 12:30~13:30
■例会場■
クリスタルパレス
ひたちなか市大平1-22-1 Tel.029-273-7711
■事務局■
ひたちなか市笹野町2-2-26東和ビル3F
Tel.029-271-1151 Fax.029-271-1150
Email:hitachinaka-rc@umino-inc.com
HP:http://www.hitachinaka-rc.com

第1073回例会
(12月19日)

年忘れ例会(割烹笹月) 坪田会員



横 須賀・小野年度も半年が過ぎた。笹月での忘年会、論客がそろった。留学生の金君も卒業後の就職が決まりこの会に誘った。

会長あいさつの後、久方ぶりに病み上がりの「爺や」が席の中央に座り、乾杯の音頭をとった。9・10月の病状から再起する自分が信じられない思いであった。参加出来てうれしかった。

会 の席順は、右が喫煙派、左は「たばこ嫌い」が陣取る形に。左側には小野・西野・御厩各会員が着席し、右側は川崎・望月を中心に新しい仲間が集まった。参加できない仲間もいたが、河野会員が少し遅れての参加に、ますます賑やかになった。



カップパーソン

一昔前までは、勝田クラブと合同だったり、家族、特に幼かった子どもたちや留学生を招き、サンタクロースも参加し大人数での会で、今と比べると雰囲気も随分と違う。今は気の合った仲間の宴席のためか、話題はハチャメチャで様々な方向に話が飛び交っている。

金 君の就職先は、サッカーチームのアビスパ福岡。トレーナー・通訳・クラブマネジメント等をするという。卒業式の日まで、福岡通いをするようだ。金君が福岡での生活に慣れた頃、会長幹事で福岡へ行こうということになった。

世界大会参加の話になり2019年6月ドイツ・ハンブルクに参加することになるかもしれない。



福岡でもがんばって!

出席報告(12月19日例会)

対象会員：15名 出席者：8名 出席率：53.3%



4つのテスト 真実かどうか 好意と友情深めるか みんなに公平か みんなの為になるかどうか

話は、「健康問題」へ。肥満を気にして健康器具を購入するが三日坊主で続かず、事務所を禁煙にしようとか、外的要素に効果を期待しても効果は少ない。犬と散歩をしても相手は生き物で、思うような運動はできない。自分自身が散歩で効果を得るためには、よほどの覚悟を決めて動かなければ効果がないだろう。

この年になって考えてみると65歳頃から食事・飲料のコントロールが大切だとわかる。血糖値や血圧をコントロールする必要があり、それを怠ると糖尿病を発症し、血管がポロポロになる。気づかないうちに「腎機能の悪化」が進む。これは痛みも苦しむこともないが、今の医学では治せない病気で一生「透析」通院通いをするようになってしまう。

**楽しく呑むのも
 健康のため!!!**



論客による議論①「喫煙論議」

「肺がんの主要因はタバコにあり」には全く科学的根拠はない。実際に発がん性物質で最も多く占めているのは「自動車の排気ガス」。これを100としてタバコは0.1以下だろう。喫煙文化研究会は、作曲家のすぎやまこういち氏が代表を務めている。順天堂大学名誉教授の奥村康氏の『「不良」長寿のすすめ』は興味深い。

ドーピングや麻薬問題のように禁止条例でがんじがらめにしながら、製造中止の方向に進まずタバコ税を上げても発売を続けようとしており、どこか矛盾している。

ニコチン・タール・ベンゾピレンといった発がん物質が生体機能に影響を及ぼすメカニズムが観察される。その点ではタバコの煙が生体組織の健全性に悪影響を与える可能性を否定することは出来ない。しかし現実的な問題は「人間の健康にとって喫煙はどの程度リスクになるのか?」とか「副流煙でガンになるという実態は?」といった点である。それが起きる可能性が、一体どの程度の深刻度を持っているのか冷静な判断が必要ははずだ。

論客による議論②「山登り～上り坂・下り坂～」

人生の上り坂と下り坂を気にすることが必要。登山時に目の前に見えるのは曲がりくねった登山道。急斜面の道で視界に入るのは、山肌のみ。目指す山頂が姿を現しても、まだまだ先。道に連なる人たちの後を追い黙々と歩みを進めなければならない。眼下には歩いてきた道ばかりでなく、その周囲の山々も、遠き下界まで見渡せる大パノラマが広がっているはず。



下り道では、登るので精一杯だった時には振り返ってみる余裕もなかった景色が目の前に広がる。足元の高山植物に気付いたり、低木の茂みから飛び出した雷鳥に驚かされたりというも、下山の楽しみだ。「頂点を極める」という目標から解放され、上り坂の前屈みとは違う姿勢で麓への道を踏みしめながら、様々な事を思うだろう。

自分の人生の「来し方行く末」へ思いを馳せるのも下山ならではの営みだ。体力の消耗や目的を達した気の緩み、早く戻りたいという焦りが事故を誘発することがある。下山のタイミングを計り損ねた判断ミス、というケースもあるだろう。

論客による議論③「人口問題」

統計学的では団塊の世代が65歳を迎えた2015年に高齢者人口が3392万人となり、その後も増加。高齢化率は2015年の26.7%から上昇を続け2060年には2.5人に1人が65歳以上、4人に1人が75歳以上に。「2025年問題」とは、約800万人いる団塊の世代が75歳を迎える年である。現在1500万人程度の後期高齢者の人口は、その頃には2200万人にまで膨れ上がり、日本人口の「4人に1人が後期高齢者」という超高齢化社会に。医療・介護事業が成り立たない時代がやってきて大問題となるだろう。

12月分 メーキャップ者報告

- 12月 2日(土) 国際奉仕研究会.....清水会員
- 12月10日(日) 社会奉仕・ロータリー財団合同セミナー.....佐藤会員、西野会員
- 12月17日(日) 第2分区分会幹事会.....横須賀会長、小野幹事

**次回
 例会**

1.16^火
 【会場】クリスタルパレス
 12:30~

NEXT MEETING PROGRAM
クラブ協議会